品質

品質に対する方針

当社は、品質方針を策定し、お客様の期待に応えられる製品を継続的にお届けします。

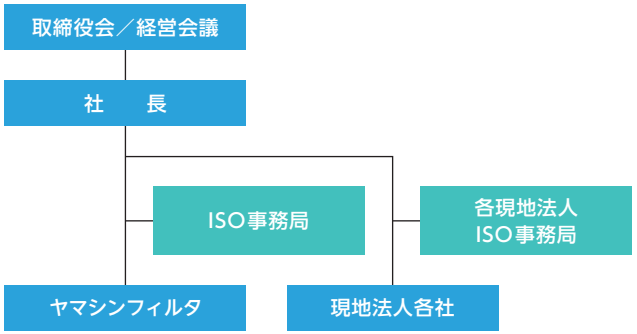
ヤマシンフィルタグループ 品質方針

品質管理の体制

当社は、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001:2015の認証を取得し(カバー率100%)、ISO事務局のもとで、各種規程に基づいた品質管理の実行によりPDCAサイクルを運用しています。

品質向上のために工程不良率の数値目標を定めてモニタリングし、管理しています。毎月の不良発生率は、佐賀工場、セブ工場、ベトナム工場それぞれの生産拠点の状況を品質保証本部が把握し、目標達成状況に応じた是正・予防措置を講じています。また、毎月の経営会議では不良発生率や不良案件について、その原因・対策などの適切性を審議し、特に重大不良案件については取締役会／経営会議に上程しています。

品質管理体制図



品質管理に関する取り組み

不具合の未然防止・発生時の対応

当社は、品質の確保を企業活動の根幹と位置づけ、製品のライフサイクル全体を通じて不具合の未然防止・早期発見・再発防止に努めています。

不具合が発生した際は、速やかに関係顧客と連携し、現場・現物をもって技術的支援や事実確認を行い、リコール判断を含むお客様の対応を技術面から支援しています。

原則として、お客様からのお問い合わせや不具合品を受領した当日中に調査を開始しています。お客様からお問い合わせがあった際は、社内システムを活用することで、各拠点との迅速な情報共有を可能にしています。また、不具合を定量的・定性的に分析する上でパレート図などさまざまなツールを活用し、不具合の原因を早期に明らかにできるようにしています。部品などの不具合に対しては、サプライヤーとも連携し、是正措置と再発防止策の共有を図る体制を整備しています。

不具合の再発防止には、グループ全体での再発防止策の策定や水平展開が欠かせません。不具合に関するデータベースの検索性向上を検討しており、さらなる再発防止の徹底と不具合が発生した場合に、より迅速に対応できるよう体制を強化していきます。

＜具体的な再発防止策＞

- 「生まれの品質」の向上
- 品質管理体制の強化
- サプライヤーとのコミュニケーション強化

改善活動

生産拠点では、「ムリ」「ムダ」「ムラ」の3点に着目した、「『3ム』メモ」による改善活動を継続的に実施しています。佐賀工場では、安全、品質、工程の改善に関して、すべての社員が毎月1件以上の提案を行っています。DX推進の一環として生産ラインにロボットを導入しました。また、ベトナム工場では現地指導だけでなくリモートで指導を行うなど、品質管理を徹底しています。

品質向上に向けた人材育成

当社は品質向上に対し、常に改善に取り組む姿勢が必要で、よりよい改善には、作業者自身が本質を理解していることが必須と考えています。そのため、OJTでは作業の意味、機器の原理や技術など、本質から業務を捉える教育を行っています。改善については提案するだけでなく、完結するまで管理させることで問題解決能力を備えた人材の育成につなげています。また、急な欠員が生じた際でも、品質不良や納期遅れを起こさないために、さまざまな作業ができる多能工の育成を推進しています。作業の本質理解と、幅広い作業への対応力の習得は、従業員の成長にもつながっています。